

# ふるさとおもしろ統計学

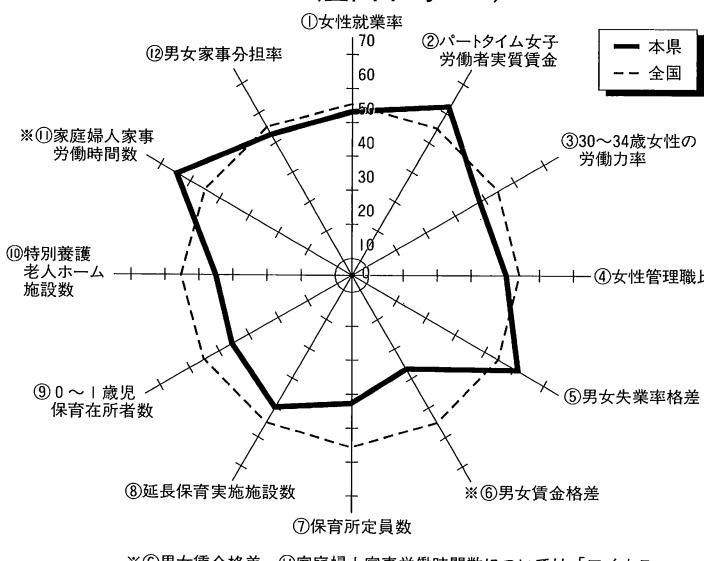
女性の労働（下）

## “育児・介護”の充実急務

前回は、本県の女性の労働力率（女性の15歳以上人口に占める就業者および完全失業者の割合）が戦後急激に減少していること、それは本県の産業構造の変化や進学率の向上などに要因があるということでしたが、今回は働く女性を取りまく本県の環境について見てみます。経済企画庁の「新国民生活指標」における“女性の働きやすさ指標”によれば、本県は総合で全国第44位と非常に低い結果にとどまっています。

これは、「女性就業率」や「男女賃金格差」など、女性が働くことに関する12の指標をもとに算出されています（グラフ1）。本県は、家庭婦人家事労働時間数の指標などは全国に比べて高く（②、⑤、⑪）、一方で、男女間の賃金格差の指標が低くなっている（⑥）、保育所定員数など“育児・介護”的指標（⑦～⑪）ではすべて全国平均を下回る結果が出ています。“育児・介護”指標が低くなっている背景には、本県は核家族世帯割合があまり高くななく（57.87%・全国23位：平成7年国勢調査）、多少は“育児・介護”について家族内での世話をしやすく、ニーズとしてあまり多くないという事情があるのではないかと考えられます。

グラフ1（全国平均=50）



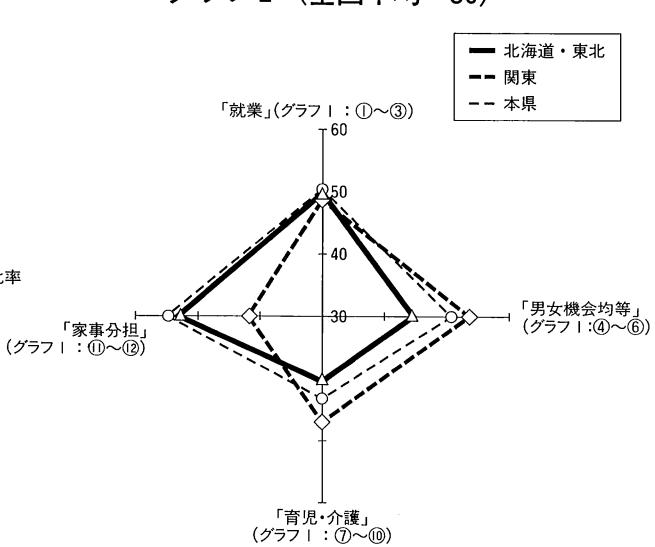
※⑥男女賃金格差、⑪家庭婦人家事労働時間数については「マイナス指標」であり、グラフが大きければ大きいほど望ましい指標である

※「ふるさとおもしろ統計学」は隔週金曜日、茨城新聞に掲載されています。

次に、これらの12の指標を「就業」「男女機会均等」「家事分担」「育児・介護」の4分野に分け、これをブロック指標として、北海道・東北、関東および本県を比べてみると（グラフ2），関東ブロックは“男女機会均等”が高く、“家事分担”が低くなっています。また北海道・東北ブロックを見ると、“育児・介護”が低く、“家事分担”が高くなっています。こうしてみてみると、本県は関東ブロックよりも北海道・東北ブロックに状況が似ていることが分かります。一般的に、大都市圏を抱えるブロックでは男性の通勤時間が長いことや片稼ぎ世帯が多いことによって家事分担は低く、地方圏ではこれらと逆の理由で家事の分担は高いと考えられます。

現在、本県では多様な保育サービスの充実や民間育児サービスなど、子育てと仕事の両立を支援するための各種施策を積極的に実施しておりますが、このような統計指標からみると、本県が「女性にとって本当に働きやすい県だ」と言われるようになるためにも、今後とも“育児・介護”面での施策をより一層充実させていくことが望まれます。

グラフ2（全国平均=50）



《グラフ1・2ともに「新国民生活指標（経済企画庁）」より》

# ふるさとおもしろ統計学

買い物は週末に

## 曜日により値段が安く

何かと出費が増える年末を迎えました。最近は大手スーパーの割引セールが脚光を浴びていますが、今回は「簡単に、賢い消費者になれる!」データを紹介します。

皆さんも、週末には、急に新聞の折込チラシが増えることはお気付きでしょうが、昨年11月に実施された全国物価統計調査でも、曜日により食料品の価格に差があるという結果がでています。

折線グラフをみると、大規模スーパー（注）では、日曜日、土曜日の順に、一般の小売店では1日早い、土曜日、金曜日の順に価格が安くなっています。また、一般小売店の価格変動が比較的穏やかなのに比べ、大規模スーパーでは日曜日と月曜日ではかなり値段が異なるのが分かります。

次に、品目別に本県では、どのような店舗でど

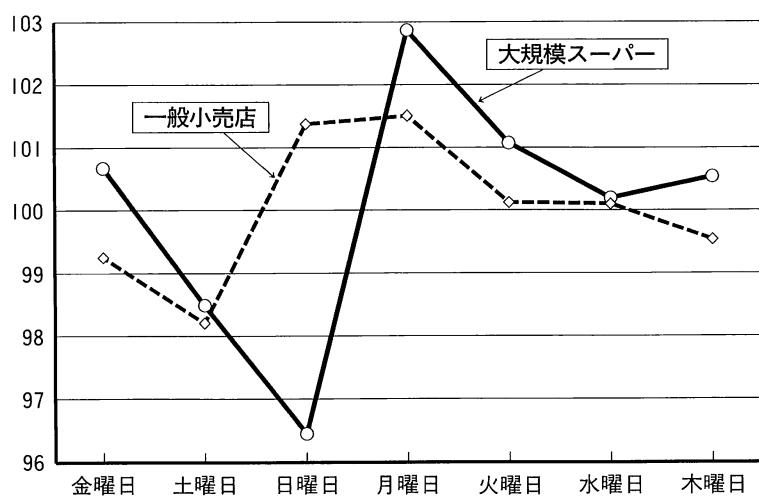
れくらい安くなっているのか見てみましょう。

鶏卵、食用油、しょうゆ、砂糖が大規模スーパーで約40%引きと割引率が大きい半面、牛乳などは比較的小さくなっています。どこの家庭でも必需品の牛乳の割引率が低いのが気になりますが、全国的にみると、乳牛の産地を多く抱える東日本は西日本に比べ価格水準が低く、本県も最も高い沖縄県よりは1ℓパックで約30円も安くなっていますから、あまり文句はいえません。

このように、買い物に出かける曜日やお店を上手に選択すればよりお得で楽しい買い物ができることが証明です。

（注）売場面積450m<sup>2</sup>以上のスーパーが大規模、450m<sup>2</sup>未満が小規模

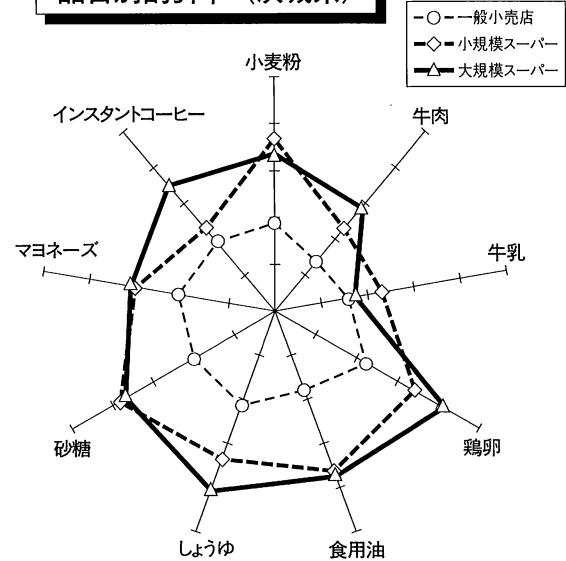
食料品の1週間の価格変化（全国）



平成9年全国物価統計調査（総務省）より

注1) 調査12品目の平均、注2) 7日間の平均を100とした指数

品目別割引率（茨城県）



平成9年全国物価統計調査（総務省）より

※「ふるさとおもしろ統計学」は隔週金曜日、茨城新聞に掲載されています。

## 統計調査の仕事について

玉里村企画課 主事補 安井千恵

統計調査、という言葉を久しぶりに耳にしたとき、思い出されたことがあります。それは、大嫌いな数学のことです。

統計調査をする以上は、当然数学的な頭が不可欠となります。私は昔から数学・算数といった数字を扱う科目が不得手で、学力テストの平均点は、いつもこの科目に引っぱられて下がりました。

このような私がどういう訳かこの統計の仕事に携わることになったのは、役場に入庁してまだ間もない頃で、当初はこのあまりにも不適格と思われる仕事に、重苦しい不安を感じずにはいられませんでした。それでも、今までこうして不器用ながらも仕事と向かい合うことができたのは、周囲の先輩方の支えがあったからこそだと思います。

というもの、もしそれがなかった場合を考えると、私はおそらく逃げ出していたに違いないと思えてくるからです。

ところで、仕事というものは実際にその職に就いてみなければ、本当の姿は見えてこないものです。

私にとってのそれは、統計調査員という存在でした。統計の仕事に携わっている今でこそ、それは知っていて当然のことなのでしょうが、以前は全くの謎だったのです。

調査票をいつの間にか家に置いていき、気が付けばなくなっている（注：どうやら母親が応対していたようですが）。どこから来るのかさえも謎だった調査員の方々と、初めてお会いしたのは、昨年度に実施された商業統計調査の調査員説明会の時でした。

商業統計の調査員として招かれた人達は、もう

何度もそうしてきたように馴れた様子で挨拶を交わしつつ、用意された席に腰を下ろすと、最近の天候の話や田植えの事を、にこにこしながら話し始めました。総じて3人。驚いたことに、彼らはみな白髪まじりで、顔に深いしわを刻みこんでいたのです。

私はこのとき、失礼とは思いつつも、本当にこの方々にお任せしてよいものかどうかと迷うものがありました。勿論、今まで調査員として活躍してきた経験を無視するつもりはありませんが、調査員という仕事柄、当然外に出てあちこちを調査して回ります。危険がないとは言い切れません。こんなもしもの事を考えると、やはり心中穏やかではありません。

しかし、実際に調査に入ってみれば、彼らはそんな心配は無用だといわんばかりに精力的に仕事をこなし、約束の日には回収した調査票を片手に、再び元気な顔を見せてくれたのです。私はこのとき、長年生きてきた人の経験の素晴らしさを思い知らされ、自らの経験不足と無知を恥ずかしく思いました。言うまでもなく、現在、調査員の方々には全幅の信頼のもと調査をお任せしています。

経験不足は日頃から痛感しているところで、私はこのために幾度となく失敗を繰り返しています。周囲の経験豊富な先輩方の様子を眺めては、無理とは思いつつも、いつかはそうなれるといいなあ、などと漫然と考えている私は、今のところはそのために何をするわけでもなく、ただ平成12年に控えている国勢調査の影におびえるのみです。

## 【新着資料案内】

【新着資料案内】

この資料は、平成10年11月中に行政情報センター・統計資料コーナーに到着した主なものです。ご利用ください。

行政情報センター 本庁舎地下1階 TEL 029-221-8111 (内線 2238・2239)

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
<b>中央省庁関係</b>		第5次茨城県産業廃棄物処理計画 青少年育成関係概要 平成10年度 衛生研究所年報、茨城県 第36号 1998 茨城県の精神保健福祉 平成9年度版 精神保健福祉センター年報 平成9年度 土壤診断実績・診断指導成果事例 平成9年度 水産試験場業績集、茨城県 1997年 水産試験場事業報告 平成9年度 近代美術館年報 平成9年度	廃棄物対策課 女性青少年課 衛生研究所 保健予防課 精神保健福祉センター 農業技術課 水産試験場 近代美術館
住民基本台帳人口移動報告年報 平成9年 事業所・企業統計調査報告 H8第3巻会社企業② 統計でみる日本 1999 日本統計年鑑 第48回 平成11年 高齢者をとりまく世帯の状況 国民医療費 平成8年度 国民生活基礎調査 平成9年 訪問看護統計調査 平成9年 関東通産統計年報 1997 鉱工業指数総覧 平成7年基準 建築統計年報 平成10年版	総務省統計局 〃 〃 〃 厚生省大臣官房 〃 〃 〃 〃 関東通商産業局 通商産業省大臣官房 建設省	NHK年鑑'98	日本放送協会
<b>茨城県関係</b>		広報・広聴課 総務課 財政課 〃 公害技術センター 環境対策課 公害対策課	会社、公社、団体等

### 編集後記

私事で恐縮ですが、今月で、社会人となって10ヶ月目を迎えました。昨年の4月に入庁してから本当にあつという間の10ヶ月でした。悪戦苦闘しつつも、どうにかこうにか日々の業務をこなし、最近は、多少余裕を持って仕事に取り組めるようになりました。この余裕が、「心の緩み」とならないよう気を引き締めて（あり当たりの表現ですが）、今年もがんばっていこうと思っています。

(KM)

### 統計いばらき

1999.1 No.537

平成11年1月発行

編集兼発行／茨城県企画部統計課

茨城県統計協会

〒310-8555 水戸市三の丸1丁目5番38号

電話 029-221-8111(内線)2651・2652

029-221-5505(直通)

FAX 029-228-0961

印刷所／富士オフセット印刷株式会社